

つなぎでつなぐ 未来へのバトン

11月22日（土）開催予定の創立150周年記念事業のテーマが決まりました。「つなぎでつなぐ 未来へのバトン」です。たくさんの候補が集まりましたが、実行委員会で協議の上決定しました。縁あって150周年という記念の年に在学している児童、在職している職員、また支えてくださる実行委員会他、PTAの皆様と、津奈木小学校の伝統や校風を次世代につなぐ記念事業にしたいと思います。

子ども達には、テーマに沿った絵を描いたり、作文を書いたりして参加してもらう予定です。また、先月の運動会で撮影した動画や町民の方のインタビュー動画なども上映する予定です。

6月は「心のきずなを深める月間」でした！

令和6年度、熊本県内の小学校では、8,625人（16.6%）が「この1年間でいじめられたことがある。」と回答したそうです。津奈木小学校では26人（14.3%）の児童が「いじめられたことがある。」と回答しました。学校生活で悪口や仲間はずれ、無視などの行為が分かったときは、まず事実の確認を行います。その時、子どもの口から聞かれるのは、「つい」「だって」「自分だけじゃない」「雰囲気で」などの言い訳です。いじめをしていい理由はないことを指導しています。（→右の写真は、高学年集会の様子）



国語力UP！カギは家庭の声

「国語が苦手」という子どもは少なくありません。国語はすべての教科の基礎であり、すべての教科で問題文を読んで答えるためには必須の力です。

ある調査によると、「家族がよく本を読む家庭、よく辞書を引く家庭に育つと、子どもの国語力が伸びる」という結果が出たそうです。最近は、本を読むより動画やテレビ、辞書を引くよりパソコンやスマホで検索という家庭が多いと思います。よほど意識していないと忘れがちになります。週に●回、月に●日と決めて、読書や辞書引きに挑戦してみるのもいいですね。

最後に、もう一つ。「笑い声、話し声、歌声」は「家庭の3声」と言って、子どもの良き言葉を育む大切な環境だそうです。明るく、正しい3声が聞こえているか、それぞれのご家庭でご確認ください。

【後記】 6月から水泳指導が始まり、プールから子ども達の歓声が聞こえてきます。最近では水泳指導を外部に委託する市町もあるなど、指導の様子も変わってきました。津奈木小では事故防止のため、複数体制で指導しています。

津奈木小学校だより 6月号 令和7年6月27日

津奈木の風

校長 船場 孝洋